



中国(上海)自由贸易试验区金桥工区 最新政策说明会



上海金桥(集团)有限公司
SHANGHAI JINQIAO (GROUP) CO.,LTD.



「第十四次五年計画」の期間中、金橋集團は「七つの金花」と中心として建設を展開し、産業の発展を推進して、区域の躍進を導き、産業都市の建設量を全面的に拡大する計画である。予算は下記のとおり。

開発建設面積 **1,700**万平米
竣工面積 **800**万平米
投資額 **1600**億元

上海金橋(集團)有限公司 SHANGHAI JINQIAO (GROUP) CO., LTD.

金橋集團は上海産業園區の開発建設の先鋒として、浦东新区において北から南まで上海金灘、上海金環、上海金鼎、上海金湾、上海金谷、上海金港からなる「6弁の金花」及び上海智城の7つの開発区域に分けられ、85平方キロメートルの開発範囲を有し、産業の位置付け・計画設計・プラットフォーム構築に全力で取り組み、「住居・産業・娯楽・観光に最適」な新たな金橋を作る。



家電・通信設備・自動車・スマートフォンがファミリーに」という4つの産業構造の転換を遂げて、金橋集團は現在主に「コンセプトカー、インテリジェント・マニユファクチャリング、メタバース、バイオ医薬」の4つの産業集群に焦点を当て、産業チェーンをめぐって戦略的な企業誘致・系統的で精確な企業誘致に取り組み、金橋の優位性及び都市形態に最適且つ特色のある産業集群を形成し、産業と都市の融合発展を全面的に推進している。



总部集聚的最上海未来之城

上海・金環 (金橋都市サブセンター)

SHANGHAI GOLDEN RING (JINQIAO CITY SUB-CENTER)

上海・金環 (碧雲新都) は金橋都市サブセンターに位置し、計画面積は4.5平方キロメートルで、濱水生態及び10万平方メートルの金環中央生態緑地を有している。ハイエンド本部オフィス、研究開発革新及び商業の関連機能、文化芸術、体育レジャーなどのサービス業機能の取入に焦点を当て、互連互通、立体複合、地下と地上が一体化した都市空間を作り上げる。金環の核心地域にある330メートルのランドマーク建築「元中心」は、金橋都市の新たな高さをリードする。

率先实现的“双智联动”的聪明城市，未来车的梦想之城

上海・金鼎

SHANGHAI GOLDEN BRIDGE MASTER CUBE



上海・金鼎は2035上海卓越都市の模範であり、新たな「産業と都市の融合模範区」でもあり、CIM+AIデジタルバックパレインに依存して全国ないし世界の先頭に立つ「スマート都市」の模範区を構築する。当該区域の計画面積は2.02平方キロメートルで、開発規模は275平方メートルであり、3つの線路が交差し、公共交通指向型開発(TOD)の理念に基づいて交通・ビジネス・商業・文化・教育・住居が一体となった都市空間を構築している。



具有未来价值的智慧城市样板区

上海・金城

SHANGHAI GOLDEN VILLAGE

上海・金城金橋の唐鎮区域に位置づけ、東は浦東運河まで、西は曹家溝まで、南は川楊河まで、北は龍東高架道路まで。

「人民の都市は人民により建設する・人民のためになる」という重要な理念を徹底的に実行ように、立ち退き拠点の小湾村を使命として、勇敢に重任を引き受け、人々に支持されるプロジェクトを実施することで、民生福祉を実現して、産業の多元融合・都市の低炭素スマート化・産業と都市とのインタラクティブができる活気溢れた緑の町を作り上げる。

百年银杏驻守的未来医药港

上海・金湾

SHANGHAI GOLDEN BAY

上海・金湾は未来のバイオ医薬品産業における主役として、ロケーション及び生態環境に恵まれ、曹家溝水系は片区を通り抜けている。さらに、4つの路線と5つのステーションが形成した交通網は金湾区域を取り囲むように分布して、「1軸・1芯・4核が連動」という都市計画の構造を形成している。産業園区全体が活気に溢れるように、イニシャル地域では図書館、センター、スポーツセンター、芸術センターなどの施設が整備されている。



聚焦智能终端新赛道的产业沃土

上海・金谷

SHANGHAI GOLDEN VALLEY

上海・金谷は上海インテリジェントターミナル産業という新しい競争産業において重要な役割を担い、1.52平方キロメートルの総合保税区の面積を含めて項目の開発区域面積は5.88平方キロメートルに達している。また、地理的に恵まれ、張江と唐鎮のコア地域に隣接し、交通が便利で、周辺に生活関連施設が完備されている。金谷は上海市における初めてのインテリジェントターミナルの生態圏を作ることを目指し、インテリジェント・コネクテッド・ビークル (ICV)、知能ロボット、スマートウェア及びスマートホームの分野に焦点を当てながら、摩天工場の新しい手本を積極的に探索し、生産・研究開発・パイロット実験・展示・関連機能を一体化した摩天工場を作る。



世界级科创总部水岸

上海・金灘

SHANGHAI GOLDEN BUND

上海・金灘（滬東造船所）は金色中環とカラフルな濱江が交差する交通の結節点となつて、浦東の中環線から外環線間の黄浦江の沿岸に位置し、北は趙家溝に隣接し、南は金橋路に近く、西は黄浦江に隣接し、東は浦東大道に達している。計画面積が126ヘクタールとなり、中には、沪東船厂と共同開発した65ヘクタールを含んでいる。現在では、当該項目は産業の位置付け・計画設計・土地所有権の調整を急ぎ、外灘・前灘・后灘の次に上海の「金灘」を作り上げ、黄浦江東岸において造船業の遺跡を融合する世界レベルの都市ホールを作ることを目指す。

融通世界的未来之城

上海・金港

SHANGHAI GOLDEN HARBOR

上海・金港は臨港新片区総合区に位置し、計画面積は42平方キロメートルで、人工知能、カーエレクトロニクス、集積回路、宇宙科学技術などを主導とする重点産業集群を既に形成している。「産業と都市の融合、住居・産業・観光に最適」な未来新都市を建設することを理念としている。

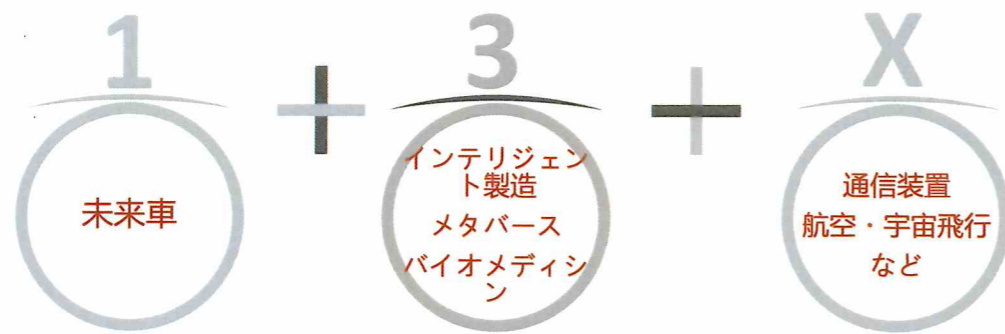


上海智城

SHANGHAI BRILLIANT CITY

上海智城は上海南匯工業園區にあり、新エネルギー産業、バイオ医薬、生産的サービス業、先進装備製造業を主導産業としている。生態、知能、低炭素を理念として、本部オフィス、研究開発試験、販売決算を一体化している。

産業体系



金橋は「コア一つ+翼複数」という産業構造になる。
 未来車を中核産業として、
 インテリジェント製造・メタバース・バイオメディシン産業が同時に進む。



未来車

SAIC・ゼネラル・モーターズをはじめ、浦東初の千億レベル産業クラスターがのハードコア式に台頭する。
 現状は新エネルギー車とICV（インテリジェントコネクテッドビークル）を戦略高地としている。

浦東初の千億レベル産業

自動車年間生産量（台）
 1,600,000

自動車工業生産高（万元）
 16,000,000



- SAIC・ゼネラル・モーターズ
 キャデラック・ビュイック・シボレー
 三大ブランド
- フォーウェイ自動車事業部
 自動車増量部品サプライヤー
- ハンアジア自動車研究開発センター
 国内最大な自動車研究開発センター

スマート都市+スマート交通+スマート運転

浦東新区の未来車産業高地を立ち上げる
 ICVと新型インフラ施設が融合する町の見本を作り上げる

全国初
NO.1

メガ・シティ中心部の応用風景

The country's first

全国初
NO.1

町の中心部に自動運転テスト用道路オープン

The country's first

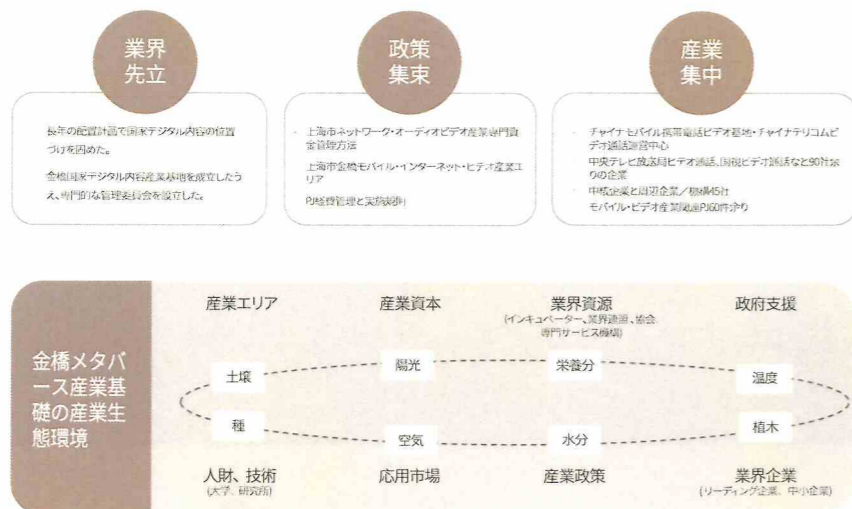
金橋インテリジェント製造産業の基礎

新松・オムロンなどの企業を代表に、グローバル影響力のある「インテリジェント製造創新集中エリア」へと邁進する。



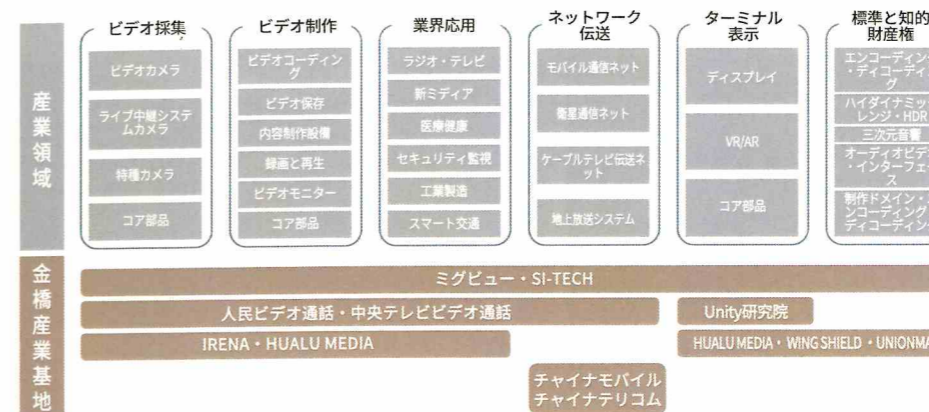
金橋メタバース産業の基礎

金橋はメタバース・ビデオ通話産業の事前配置、良い産業生態環境の作り上げにより、すでに規模あるクラスター効果ができている。



メタバース・ビデオ通話産業チェーン

金橋はメタバースビデオ通話産業チェーンの召集者として、多数のリーディング企業の支援をいただき、産業チェーン全体のレイアウトが完成してきた。



金橋生命科学と健康産業

生命科学と健康産業を中心として集中して、産業クラスターのパタンにて区域連動の発展、国家戦略に従う新設企業の共同的・融合的・エゴ的及び高品質な発展を推し進める。金橋集団初の生命科学と健康産業の研究開発・製造が集まる生態本部となる。



星元公寓は金橋集団が上海金鼎区域で最初に建設した施設のプチ贅沢なリース用マンションである。申濤路・柯橋路に位置づけ、地下鉄12号線の申江路駅までは歩いて5分間の距離です。東には平和学校の金鼎分校で、北には金鼎首府という高級住宅に隣接している、位置・交通と周辺施設に恵まれている。



星元公寓の延べ総面積は17,951平米で、11階建である。全体として半囲みのレイアウトになり、部屋は391軒ある。1R1T・1R1T1Lをメインに、一部の部屋は貫通になることができる。部屋の面積は30～60平米となっている。爽やかな和風無垢材スタイル・北欧スタイルのインテリアになり、すべてお風呂とトイレ付でスタンダードな生活施設が整備されている。家の暖かい雰囲気があり、バッグ持ってだけチェックインしてよいものとなっている。



暮紫里人才公寓は浦東新区の利川路421弄・501弄に位置している。上海金橋（集団）有限公司により開発され、完全子会社の新金橋資産運営管理有限公司により管理されている。延べ総面積は24万平米で、レイアウト多様なアパートを4640軒提供している。カスタマイズするシャトルバスも提供できる。構内にはビジネス棟があり、カフェ・理髪店・運動場・喫茶店・薬局などの機能スペースがある。周辺には金匯、地緯などの商業プラザと川沙体育館などの施設があり、日常の多様な要件に満足できて、生活が便利である。構内は居住証の手続きと積立金の卸などのサービスも提供できる。



レジャー施設については、金橋集団が若年層のお客さんに深掘して、階層的・テーマ付き・若年層向けの多種多様なレジャースペースを設置しており、魅力のある都市生活環境を造つてある。それぞれのエリアに総合的なレクリエーションの施設を設置してある。例えば、金環エリアでは10万平米のビジネスセンターがある。その中にSAM's CLUBもあり、娯楽・スポーツ向けの金環緑地都市文化総合建物と金環碧雲レジャースポーツ公園もある。また、金鼎エリアでは13万平米の金鼎モールや娯楽・スポーツ向けの金鼎ウォーターテーマ体育中心も配置されている。



教育資源は金橋集団が企業と人財向けのサービスを提供する重要な手段である。金橋区域には有名な国際学校—DULWICH英国国際学校・アメリカのコンコード国際学校・上海ドイツ学校国際部及び上海日本人学校がある。教育の品質が全国トップにランキングされたバイリンガル学校—上海私立平和学校（金橋集団主催）もあり、品質の高い国立学校、例えば浦東実験学校東校・建平実験小学校・上海外国語大学附属浦東外国語小学校などもある。同時に、金橋集団は金鼎区域内に産業と教育の総合建物—平和教育総合センター（高校と幼稚園）を建て、品質の高い国立教育資源（中学校・小学校・幼稚園）を導入する。



医療資源については、金橋にはグレード3Aの復旦大学附属華山病院東院がある、それに、和睦家国際医院もある。将来、住民の需要に満足できるように、金橋の七つのエリアではさらに多くの優れた医療資源を導入される予定である。



ありがとうございます



金橋集团

